

科目担当者氏名		科目担当者連絡先（メールアドレス）	
(ふりがな) にしむら たけお 西村 雄郎			
連絡責任者氏名		科目設置機関名	
(ふりがな) にしむら たけお 西村 雄郎		広島大学	
授業科目名	科目認定番号	受講者数	
社会環境調査Ⅰ 社会環境調査Ⅱ	HRMa-081601-2 HRMa-081602-2	10名	

I. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：学生たちは予備的な調査として実施した住民に対する聴き取り調査をふまえ、蒲刈町住民を対象とする生活・意識調査の質問票の作成、分析を行い、調査報告書を作成した。1年間という短時間にこれらの作業を行い、あわただしい中に、調査をやり遂げた充実感があるようであった。

II. 調査の企画・設計（デザイン）

1. 調査のテーマ／領域：呉市蒲刈町住民生活・意識調査

2. 調査の内容／概要：呉市蒲刈地区で暮らす住民の家族生活、地域生活、職業生活のあり方と意識を明らかにすることを通して、蒲刈町住民がかかえる生活問題の特質と今後の地域づくりのあり方について考察を加える。

3. 調査の範囲／対象（量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入）：呉市蒲刈町の選挙人名簿から20歳以上80歳以下の360人をランダムサンプリング法で抽出

4. 主な調査項目：家族構成、家族関係、ソーシャルサポート、地域評価、地域社会関係、地域づくり意識、日常生活行動、生活意識、フェースシート

III. データ収集の方法と結果

5. データ収集（現地調査）の方法：郵送法と聴き取り調査

6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：2008年7月、9月・呉市蒲刈町・延べ30人

7. 収集したデータの量と質への評価（量的調査の場合は有効回収票数及び回収率を必ず記入）：質問紙調査は360票を郵送法で配票、199票回収、回収率55.3%、聴き取り調査は区長、婦人会長など地域リーダーを中心に20名を対象として実施

IV. データ分析の方法と結果

8. データ分析／解釈の方法：質問紙調査のデータはSPSSを用いて単純集計、クロス集計を行い分析、

9. 調査の成果（調査から得られた主な知見など）：過疎化、高齢化問題に直面する蒲刈町住民の生活実態を明らかにするとともに、今後の地域づくりが抱える困難を明らかにした

10. 報告書刊行の予定と概要：2009年3月27日刊行pp 1-83

<記入上の注意点> 1. 調査のテーマ毎に用紙を替えて(3つのテーマを立てて実施した場合は合計3枚に渡って)ご記入下さい。

2. 最上部の*印の箇所には数字を(「*/」)には、報告書が複数枚になる場合のみ、3枚中の1枚目なら1/3と)ご記入下さい。

3. 全ての項目について具体的にご記入下さい。但し、1テーマ毎に印刷が必ずA4サイズ1枚に収まるようにして下さい。フォントサイズは変えず(設定してある通り)にして、項目毎に分量に応じて「行の高さ」を変えることで調整していただけたら幸いです。

4. 報告書はウェブ上で公開する予定です。また、調査実習情報をDB化することも検討しています。ご承知置きの上、ご記入下さい。